

免責に関する承諾書

犬・猫をお預けになる際に必ず記入、ご署名のうえ、提出してください

私.....は、動物の飼い主（またはその動物の同伴者）として預けることを証明します：

1. 自分の犬 は、フランスが規定する第1及び第2カテゴリーの犬種ではありません。
 2. 形態的に類似している場合、自分の犬が第1及び第2カテゴリーの犬種でないことを証明する獣医証明書を保持しています。
 3. 自分の犬 または猫は短頭種ではありません（鼻が獅子鼻または平たくない）。
 4. 自分の犬または猫は身体的な衰弱や外傷がなく、鎮静剤を投与されていない状態で、グランドスタッフの安全を脅かしたり、輸送中の他の動物を妨害するような行動（特に攻撃的な行動）をしたりすることはありません。
 5. 私は、特定の空港で乗り継ぎがある場合、特にパリ - シャルルドゴール空港とパリ - オルリー空港では、乗り継ぎ便へに再度預けるために、乗り継ぎ地点で動物をかならず引き取らなければならないことを知らされています。私は、自分の責任で乗継国の手続き（必要に応じてビザ）を遵守することを理解しています。
 6. 自分の犬または猫の輸送用ケージは、別紙「犬・猫のエールフランス航空便荷物室での輸送に関するご利用条件」に記載されている IATA 規格に準拠しています。ケージは完全な状態で、動物のサイズに適し、効率的な施錠システムを装備しています。
- ✓ 私は、出発国、目的国、乗継国（予防接種、検疫など）で施行されている動物の規制について調べるのは、自分の責任であることを理解し、自分の動物の輸送に必要なすべての身分証明書と健康に関する書類を所持していることを証明します（すべてを網羅したリストではありません）。
- a. 現在のすべての必須ワクチンのワクチン接種小冊子または証明書。
 - b. あらゆるEU内の輸送の場合、自分の動物が特定可能で、予防接種を受けていることを証明する資格のある獣医により署名、交付された欧州パスポート。
- ✓ 私は、本書ならびに エールフランス航空ウェブサイト に定義されている条件の全てを一読し、同意します。
- ✓ 私は、エールフランス航空がペットの輸送を拒否する権利を有し、これらの条件に違反した場合に発生する費用（予約の変更、宿泊、ケージの費用など）について責任を負わないことを理解しています。到着時に動物の受け入れが拒否された場合も、仕向国の関連法規に違反したことが正当化され、同じことが適用されるものとします

いずれにしても、私は自分ペットが搭乗拒否されれば、上記の理由のために、自分自身の搭乗も拒否されることを知らされており、それに同意します。私の旅行は、エールフランス航空の一切の負担なく自分のペットの預け先*の打開策を示した場合のみ可能になります。

氏名：

ご署名：

日付： / /	フライト番号：AF	渡航先：
---------	-----------	------

以下の枠内には記入しないでください。

* 動物の遺棄は刑事罰の対象となります。

エールフランス航空便荷物室におけるペット受け入れに関する条件

ご注意ください：一部の犬・猫の輸送は エールフランス航空荷物室では禁止されています

- エールフランス航空運航便では、[フランスが規定](#)する第1及び第2カテゴリーの危険性の高い犬種の輸送は禁止されています。



犬が単なる類似性から第1及び第2カテゴリーの犬種とみなされる可能性がある場合は、第1及び第2カテゴリーの犬種でないことを証明する獣医証明書（診断書）を提示する必要があります。疑わしい場合に獣医証明書がなければペットの輸送を拒否するものとします。

- 短頭種（獅子鼻）の犬または動物は貨物室での輸送に適しておらず、エールフランス運航便でも禁止されています。[短頭首の動物品種のリストをご覧ください](#)。

輸送用ケージ（IATA（国際航空運送協会）規格）に関する必要条件

- ✓ 硬質プラスチック又はファイバーガラス製のケージのみを受け付けます。
- ✓ 車輪が付いている場合は、ケージから車輪を取り外す必要があります。格納式の車輪は、テープでしっかりと固定してください。
- ✓ ドアは、中央での操作で上下を同時にロックする仕組みのものとしします。(a)
- ✓ ドアの蝶番のピンとロック用のピンは、ドアの水平に突き出した部分から上下に1.6cm（1,6インチ）以上、出ている必要があります。(b)
- ✓ ケージの上部と下部はボルトで結合するものとしします。(c)
- ✓ ケージには、エサ入れ用と水入れ用に分かれた容器が付いている必要があります。容器は空の状態に固定し、ケージを開けなくても外側から届くようにしておかなければなりません。

お引き受け可能な輸送容器の例



お引き受けできない輸送容器の例



「IATA認定」と記載されている場合も動物の輸送ケージが上記のIATAリストに掲載されている規則に則していることを必ず確認してください。

ペット・動物を快適かつ安全に輸送するためのその他の条件

- ✓ 動物が立ち上がって頭をあげてもケージの天井に触れないものである必要があります。動物が立った時に、天井に耳や頭がつかない5cm以上の高さのケージを使用する必要があります。また方向転換し、十分に横になれるスペースがなければなりません。
- ✓ 目的地に到着するまで、動物は水分補給することができません。お預けになる前は十分水を飲ませてください。
- ✓ ケージにはブランケット、新聞紙、その他の吸湿材を床部分に敷くことをお勧めします。藁の使用は禁止されています。藁の使用は禁止されています。
- ✓ 犬に口輪・首輪・リードを着用しないようにしてください。これらのアクセサリはケージに放置しないでください。
- ✓ 身体的な衰弱や外傷がなく、鎮静剤/精神安定剤を投与されていない状態である必要があります。